



中川っ子だより

ありがとう150周年!

教育目標 である (be) 学校から できる (can) 学校へ
校 志 腰骨立てて「やさしく強くより高く」



「椰子の実」というすてきな歌

「椰子(やし)の実」という歌があります。

柳田国男先生が、愛知県の渥美半島(伊良湖岬・恋路ヶ浜)に流れ着いた椰子の実を見られて、南から日本に向かってやってくる日本海流、それに乗って島々をたどりたどりやって来る日本人の祖先を考えられたという有名な話があります。想像だけではなく、たしかな学問上の証拠を集め、筋を立て、学説に高めていかれました。「風の強かった翌朝は黒潮に乗って幾年月の旅の果て、椰子の実が一つ、岬の流れから日本民族の故郷は南洋諸島だと確信した。(本人筆)」

こうした学問とはちがった意味のエピソードがあります。柳田先生からこの椰子の実の話を聞き、椰子の実に寄せられた先生の感想を聞かせてもらった、ある詩人が、「先生、どうかその話はしばらくの間、他の人にはしないでくださいませんか」と先生にたのんで、やがて自分で詩を作って持ってきたというのです。その詩人というのが、かの、島崎藤村で、明治、大正、昭和にかけての大家なんです。少し難しい言葉づかいもあるけど、分からぬところはそのままとばして読んでも結構ですから、その詩を書いておきましょう。

名も知らぬ遠き島より 流れ寄る椰子の実一つ

名前も知らない遠い島から流れてきた椰子の実が一つ

故郷(ふるさと)の岸を離れて 汝(なれ)はそも波に歳月(いくつき)

故郷の岸をはなれておまえはいつの間波に流されてきたのか

旧(もと)の木は生いや茂れる 枝はなお影をやなせる

椰子の実が成っていた元の木は今も生いしげっているのだろうか枝は今もなお影をつくっているのだろうか
われもまた渚を枕 孤身(ひとりみ)の浮寝(うきね)の旅ぞ

わたしもまた波の音を枕に一人寂しく旅している

実をとりて胸にあつれば 新たなり流離(りゅうり)の憂(うれい)

椰子の実を胸に当てればさまよい歩く旅の憂いが身に染みる

海の日沈むを見れば 激(たぎ)り落つ異郷の涙

海に沈む夕日を見れば故郷を思いあふれ落ちる涙

思いやる八重の汐々(しおじお) いずれの日にか国に帰らん

遠い旅路に思いを馳せるいつの日か故郷に帰ろう

詩人の藤村は、自分もまたこの椰子の実と同じように、故郷を遠く離れて、知らぬ地にさまよう旅人のようなものだと言っているのです。
小学5年生の時の学級通信「泰山木」より

「椰子の実」は、昭和11年に発表された歌です(作詩:島崎藤村/作曲:大中寅二)。平成18年に文化庁や日本PTA全国協議会が主催した「～親から子、子から孫へ～親子で歌いごう日本の歌百選」に、この「椰子の実」も選ばれました。他には「夏は来ぬ」「浜辺の歌」「いい日旅立ち」「時代」…などがあります。昨今、TV番組で「70・80年代の昭和の歌が心に沁みる…」などと言われてますが、「椰子の実」のようなそれ以前の名曲が、日本人の記憶から消えしまいそうで、少し気になります。

柳田国男は、1875年(明治8年)に、現在の兵庫県神崎郡福崎町に生まれ、その後、日本民俗学の開拓者として多くの著作を残した人です。

「椰子の実」も、柳田国男も、授業で学んだというよりは、先生や母親から、それとなく聞かされて知った…当時でした。我々が受け継ぎ、子どもたちに語り継ぐものは震災経験以外にもたくさんあります。年の初めにこんなことを思っていました。ちなみに2025年は、柳田国男先生生誕150年の年です。

同窓の樹

行っておいで
それぞれ
道
帰っておいで
ここが、
故郷

創立150周年記念

スキー教室

1月10日(金)に5・6年生がハチ高原スキー場でスキー教室をしました。昨年度は雪があるのかと心配しましたが、今年度は大雪警報を心配するような日でした。が、前日から降り積もった新雪の上を子どもたちは縦横無尽に滑走しておりました。



防災学習-「震災・学校支援チーム(EARTH)」に学ぶ

30年前の阪神・淡路大震災では、避難所となり混乱した被災地の学校に、県内外から多くの教職員が応援に駆けつけてくださいました。その教訓から、兵庫県の教職員による災害時の学校支援組織の設置が提言され、これを受けて、県内の教職員を対象に、防災や避難所運営等に関する専門的な知識や実践力を備えるための養成講座が始まりました。平成11年のトルコ大地震や台湾大地震の被災地には、県教委職員や教育復興担当教員を派遣して支援活動を行いました。これをきっかけに、教職員による災害時の学校支援組織設置の気運が高まり、平成12年の4月に「震災・学校支援チーム(EARTH)」が発足しました。これまでも数多くの被災地支援活動を行っており、令和4年度の時点で、養成講座を修了した教職員230名に加え、カウンセラー3名を特別構成員として233名が活動しています。1月20日(月)は、豊岡市・養父市の学校に勤務するEARTHの方3名を招いて、防災学習をしました。地震の時はどうするかなどを分かりやすく、動作化などを交えて教えていただきました。



2月の主な行事予定

※学校ホームページにも掲載しています

1	土		15	土	
2	日		16	日	
3	月	交通立番 6年:座右の銘書写	17	月	SC来校 PTA新年度常任委員会
4	火	全校朝会 通級指導 金管	18	火	児童朝会 通級指導 金管
5	水		19	水	読み聞かせ
6	木	委員会活動	20	木	クラブ活動 ノテレビノゲーム読書の日
7	金	オープンスクール・教育講演会 金管	21	金	金管
8	土		22	土	
9	日		23	日	天皇誕生日
10	月		24	月	振替休日
11	火	建国記念の日	25	火	通級指導 PTA引継ぎ会 金管
12	水	読み聞かせ	26	水	
13	木	3年:マイエンザ授業	27	木	
14	金	交通立番 学校運営協議会 金管	28	金	6年生を送る会

【お知らせ】

- ・3学期中に、全学年を対象に「標準学力検査CRT国語・算数」を実施します。これは全国トップのシェアを持つ標準学力検査で、一人ひとりの1年間の学習の到達程度がわかり、基礎的学力の充実をはかることに役立ちます。恐れ入りますが、検査料を学級費と併せて徴収しますのでご理解とご協力のほどよろしくお願いします。結果が届きましたら個々に検査結果を渡します。
- ・2月7日(金)に今年度最後の授業参観(オープンスクール)を実施する予定です。また、授業後にはPTA主催の教育講演会を開催します。地域のみなさまも是非この機会に中川小学校にお越しください。